

事務事業名		広場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業		
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 28 年度～ 30 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
	施策名	07 ともに支え合う地域づくりの推進				
	基本事業名	05 人にやさしいまちづくりの推進				
根拠法令		都市計画法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 05 05 01 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	災害復興局 土地利用課		全体計画 (※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 174,556 一般財源 33,993 事業費計 (A) 208,549 人件費 正規職員従事人数 9 延べ業務時間 1,300 人件費計 (B) 5,200 トータルコスト(A)+(B) 213,749		
	課長名	佐々木 義久				
	係名	計画係	電話			0192-27-3111
	担当者	佐藤 力也	内線			353
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ① 被災跡地土地利用計画に基づく、広場整備事業である。 ② 通常の整備事業は、整備施設の目的などにより建設課等事業課が主管課となるが、本事業は地元住民組織や復興庁等関係機関との調整などから当課が主管課となった。 ③ 事業費は、設計、施工、施工管理の費用である。 ④ 現時点で計画しているのは、浦浜地区多目的広場整備事業、綾里地区緑化広場整備事業、細浦地区コミュニティ広場整備事業である。 ⑤ 財源として復興交付金を充てるため、事業内容が復興庁との調整を要することに加え、復興計画期間が限定されていることから協議期間が短期で、長期的な見通しを建てるのが難しい事業となっている。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 浦浜地区多目的広場整備事業の設計費が交付金事業費として認められた。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 浦浜地区多目的広場整備事業の工事費が事業費配分され、工事中工した。 細浦地区コミュニティ広場整備事業について、交付金事業として採択され、6月補正で予算措置し、事業着手した。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 広場整備事業計画数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 広場整備事業計画数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 広場整備事業計画数	件								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 被災跡地	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 復興交付金申請事業数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>キ 活用する被災跡地延べ面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 復興交付金申請事業数	件	キ 活用する被災跡地延べ面積	ha	ク	
名称	単位								
カ 復興交付金申請事業数	件								
キ 活用する被災跡地延べ面積	ha								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 復興交付金事業を活用して広場整備事業を実施する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 着手した広場整備事業数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 整備延べ面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 着手した広場整備事業数	件	シ 整備延べ面積	ha	ス	
名称	単位								
サ 着手した広場整備事業数	件								
シ 整備延べ面積	ha								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 被災跡地の有効な利活用が図られる。									

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円		4,474	90,082	80,000		
		一般財源	千円		1,124	12,869	20,000		
	事業費計(A)		千円		5,598	102,951	100,000	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	3		
		延べ業務時間	時間		1,000	1,000	1,000		
		人件費計(B)	千円		4,000	4,000	4,000	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円		9,598	106,951	104,000	0
⑤ 活動指標									
		ア	件		3	0	0		
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標									
		カ	件		2	1	0		
		キ	ha		0.5	0.7	0.7		
		ク							
⑦ 成果指標									
		サ	件		1	2	0		
		シ	ha		0.5	0.7	0.7		
		ス							

事務事業ID	1362	事務事業名	広場整備事業
--------	------	-------	--------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	被災跡地利用基本計画を策定する中で、各地域復興組織からの整備要望を受け、利用計画に位置づけることとなった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	広場を整備する条件として、維持管理経費の市財政への影響などから、地域が主体となった維持管理体制を構築することを整備条件としている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域コミュニティ醸成のため活用する施設として期待されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 各地区復興委員会等と意見調整しながら整備内容を詰め、地域主体の管理体制、コミュニティ醸成のため有効である。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市が市有地を含む被災跡地の利活用を図ることは、震災からの復興を図るため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 広場整備については、復興交付金の活用が認められる範囲で実施し、維持管理も地域主体としていることから妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 策定した計画に基づき事業の企画立案を行うこととなるが、事業内容は復興庁等と協議で決定されるため、その必要性・位置付け・重要性等を整理していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	地域復興組織等との協議を重ねて事業を実施していることから、事業廃止、休止は相当の説明が必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 実質全額国費で賄われ、復興庁との協議を重ねて決定された事業費であり、必要最小限の経費となっている。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 設計から外部委託しており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 整備される広場は、地域コミュニティ醸成のための施設であり、維持管理も地域主体となっていることから適正である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

<b>(1) 改革改善の方向性</b>		<b>(2) 改革・改善による期待成果</b>																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<b>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b>		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
特になし																					

**4 課長等意見**

<b>(1) 今後の方向性</b>	<b>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</b>
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	地域住民の要望を踏まえ、なおかつ市財政への影響を最小限に留めることを調整しながら、整備する施設の活用や管理の方策について検討を深めながら事業実施する必要がある。